

パスター大倉の牧師室から

2016年 イスラエル紀行(7)

映画、『ベンハー』が上映されています。この作品は1959年に公開されたもののリメイクとなります。観に行かれた方達の感想はそれぞれですが、チャールトン・ヘストン主演のオリジナルのほうがよかったという声を多く聞きました。映画や芝居では時々、このようなリメイクがなされることがありますが、オリジナルの作品に軍配があがることが多いように思われます。

イスラエルに行きました時、ヨーロッパの観光地をたくさん見てこられた方達が「やはりイスラエルは別格だ」とおっしゃっていました。イスラエルの何が違うのでしょうか。そうです、ヨーロッパの文化、音楽、絵画、建築にはキリスト教の大きな影響がありますが、これらの創作にあたった人達はイスラエルで起きた出来事を題材として作品を作り上げたのです。すなわち、オリジナルはイスラエルなのです。これが「伝えられたもの」と「そこから生まれたもの」との違いです。

エルサレムの博物館でオリジナルの死海写本を見ました時に、羊皮紙に刻まれたヘブル語に鳥肌がたちました。なぜなら、そこには今も変わらない人間の原型があり、人と関わった神の物語がそこには記録されているからです。人間について書き記された小説や映画は数多くありますが、それらは既に聖書に記されている人間のオリジナルの姿を脚色して創作されたもののように私には思えるのです。

9月25日から「人生の危機管理」というテーマの礼拝メッセージのシリーズを毎週、皆さんにお届けします。私達は色々なことを通して学ぶことができますが、その最たるものは私達より先に生きた人間の失敗から学ぶことです。なぜなら彼らの失敗はいつでも私達も犯しかねないものだからです。そのような意味で聖書は失敗の宝庫です。そんな宝箱を開け、一つ一つを手に取りながら、私達の心に刻んでいきたいと願っています。このシリーズが終わる時、この宝をたくさん内に秘め、与えられている人生を確かな足どりで歩くことができたら、それはなんと大きな収穫でしょうか。

お知らせ

■9月4日(日) - 5日(月)に恒例のレイバーデイキャンプがオーシャンサイドのペンデルトン基地内でもたれ、子供から大人まで70名が集い、それぞれが楽しいひと時をもちました。

■9月18日(日)には恒例の敬老会がもたれます。当日は朝10時からの日英合同礼拝でその後、ランチを楽しみます。皆でこの日を喜びお祝いしましょう!

■大倉牧師は9月27日(火)から10月1日(土)まで神戸でもたれる日本伝道会議に出席します。この会議は今年、七年ぶりに開催され、日本のキリスト教超教派の会議としては最大のもので、週末には海外で日本人伝道に従事している牧師達が集まります。多くの収穫を得ることができるようにお祈りください。大倉牧師は帰路、埼玉の家族を訪ね、10月6日に帰国します。留守の間の10月2日には大川道雄師が礼拝メッセージ取り次ぎ、バイブルスタディーを導いてくださいます。

■10月2日(日)、午後1時30分より、第五回となるゴスペルフラ・アウトリーチがもたれます。ご家族、ご友人をお誘いください。

■10月16日(日)、礼拝後にNCM2のミニコンサートがもたれます。ご家族、ご友人をお誘いください。

■10月25日(火)から27日(木)まで五人の牧師が集まり、修養会委員会をもち、来年の修養会のために祈り、計画をたてます。来年の修養会は7月4日(火)から7日(金)までです。今から予定入れましょう。

■12月26日(月) - 1月1日(日)まで「Rise & Go: イエスの勝利の御名によって」というテーマで Murrieta にて Equipper Conference がもたれます。9月30日までに申し込みますと25ドルのディスカウントがつきます。 <http://equipper.org/>

■私達の教会の今年の標語は「友情を育む」です。そこで教会ではカップヌードルをお分けするようになりました。あの人の話しを聞きたい、聞いてほしい、祈り合いたい、学び合いたい等、簡単なランチと共にお友達との時間のためにお用いください。

■私達の教会では日曜礼拝をインターネットを通してライブで放映しています。また過去の礼拝映像、日英両語の礼拝メッセージ原稿も読むことができます。 <http://www.sdjcc.net/>の「日本語」からどうぞ。